

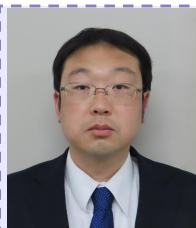
Topics
1

令和8年度高知県教育委員会事務局 新任教育次長及び所属長あいさつ



将来の高知県の主役となる子どもたちが、心惹かれることに打ち込み、夢や希望を持って様々なことに挑戦し、社会に羽ばたいていけるよう、私たちは何ができるか、何をなすべきか、ともに考え、ともに取り組んでいきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

教育次長(総括) 岡本 幸生



全国的に教員確保が困難な中、当課ではできるだけ多くの方に採用審査を受審していただくため、審査実施方法の改善、教員の魅力発信などの取り組みを進めています。さらに、現職教職員の働き方改革、メンタルヘルス対策、適切なサービス管理・給与制度の運用などを通じて教職員の皆さんを支えていきます。

教職員・福利課長 正岡 陽一郎



11年振りの西庁舎勤務となります。児童生徒の安全を守り、安心快適な教育環境を整えるという当課の役割を全うするため、メンバー皆と力を合わせ、安全教育などのソフト面、学校施設改修などのハード面、それぞれの対策に全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

学校安全対策課長 久米 一宏



本県では1~2歳児の段階で保育所等への入所率が85%を超えています。生活時間の多くを過ごす場である保育所や幼稚園等の教育・保育の質向上を支援するとともに、親育ち支援をさらに充実させ、就学前の子どもたちの「育ち」や「学び」を支えることに力一杯取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

幼保支援課長 市村 留美



当課では、令和7年3月に策定した県立高等学校振興再編計画のもと、今後の社会を見据えた高等学校改革を力強く推進しています。多様な学習ニーズに対応した学びの機会を保障し、生徒一人一人の可能性を伸ばす高校教育の振興に、学校はもとより、市町村や地域、関係機関と連携して取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

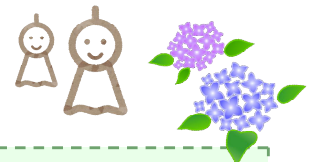
高等学校振興課長 中島 義文



当課では、支援を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた、切れ目ない指導・支援の充実を図るとともに、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶことができるインクルーシブ教育を推進してまいります。皆さまどうぞ、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

特別支援教育課長 谷澤 朗





第3期教育大綱・第4期高知県教育振興基本計画で掲げる基本理念の実現に向け、「学びの風は東部から」を合い言葉に、市町村教育委員会や学校との関係づくりを大切にしながら、取組を進めてまいります。そのために、「鍛え育成する東部の教育文化」の醸成を図ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

東部教育事務所長 坂下 佳絵



第3期教育大綱および第4期教育振興基本計画の理念のもと、「幡多はひとつ」という精神を大切に、子どもたちの未来に向かい、学校・市町村教育委員会・教育事務所が手を取り合い、対話を重ねながら取組を前進させていきたいと考えております。幡多の教育の充実に向けて精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

西部教育事務所長 宮崎 史和



黒潮の恵まれた自然環境の中で、宿泊研修や体験活動などバリエーション豊かな活動プログラムによる教育的支援を行うとともに、子どもたちの「豊かな心」を育み、「社会で生き抜く力」を身につけられるよう全職員でサポートを行いますので、よろしくお願いいたします。

幡多青少年の家所長 栗本 健

Topics 2

県立高等学校に新たな学科・コース等ができます！

「県立高等学校振興再編計画 ～ いきいき、かがやき、つながる学びへ ～」（令和7年度～令和14年度）に基づき、令和10年度には高知丸の内高等学校に「まんが・アニメコース」及び「多文化共生コース」を新たに設置するとともに、令和11年度には高知東高等学校に全日制・定時制（昼間）・通信制の3課程を併置し、多様な学びのニーズへの対応を推進します。

さらに、令和9年度には、高知東工業高等学校、須崎総合高等学校、幡多農業高等学校及び宿毛工業高等学校が学科改編を行い、教育内容の充実を図ります。

高知丸の内
高等学校

R10 「まんが・アニメコース」 …高知の特色ある文化・芸術を生かした教育活動
「多文化共生コース」 ……日本語指導の必要な生徒を対象とした学習支援
▶ 多文化共生を推進し、文化・芸術教育の拠点校として魅力化・特色化

高知東
高等学校

R11 全日制・定時制（昼間）・通信制の3課程を併置 …多様な学び方ができる高校
▶ 生徒が自己に合った学び方を選択しやすい高等学校として魅力化・特色化

学校名	R9からの学科・専攻名（下線部：学科改編後）
高知東工業 高等学校	機械科、電子科、 <u>電気機械科</u>
須崎総合 高等学校	機械系学科（機械専攻、造船専攻）、 <u>電気建設系学科（電気情報専攻、建設専攻）</u>
幡多農業 高等学校	<u>アグリクリエイト科</u> （※2年次から園芸、畜産、森林の3専攻）、 <u>ライフクリエイト科</u>
宿毛工業 高等学校	機械科（機械専攻、自動車専攻）、建設科（土木専攻、建築専攻）、 <u>電気情報科（電気専攻、情報技術専攻）</u>



詳しくは高等学校振興課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/311801/>



高等学校振興課 計画推進担当
TEL：088-821-4719

高知県教育委員会では、すべての県立学校において、教職員が子どもと向き合う時間を確保し、教育の質を向上させるとともに、健康で生き生きと勤務できる環境を確保するため、『高知県立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画 ～きらっと いきいき あったかい「高知家」の教育の実現に向けて～』を策定しました。

今後、高知県教育委員会として、取組の実施状況を継続的に確認し、必要に応じて学校への助言や改善支援を行うなど、各学校と連携しながら、教職員が働きやすい環境づくりに努めてまいります。

1 計画の趣旨等

(1) 計画の趣旨

本計画は、改正給特法に基づき教職員の業務量管理と健康・福祉の確保を図ることで、教職員が健康で専門性を発揮できるよう、ワーク・ライフ・バランスの確保と働き方改革を推進し、本来業務に向き合う時間やウェルビーイングの確保を目指して策定。

(2) 計画の対象職員

高知県立学校に勤務する教職員

(3) 計画の期間

令和8年度～令和11年度（4年間）



2 県立学校の現状（時間外在校等時間の状況等（令和6年度実績））

- (1) 1年間における1か月時間外在校等時間の教育職員全体の平均時間
 - ・全体：22時間50分
- (2) 時間外在校等時間が月45時間以下の教育職員の割合
 - ・全体：70.5%
- (3) 夏季（7～9月）において10日以上のお休みを取得した教職員の割合
 - ・全体：55.5%
- (4) 男性教職員の育児休業取得率
 - ・全体：45.0%

とさまざまなチャンネル
も見てね♪



3 計画の目標

- (1) 時間外在校等時間に関する目標
 - ・1年間における1か月時間外在校等時間の教育職員全体の平均時間を30時間以下にする。
 - ・時間外在校等時間が月45時間以下の教育職員の割合を100%にする。
- (2) ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標
 - ・夏季において10日以上のお休みを取得した教職員の割合を100%にする。
 - ・男性教職員の育児休業取得率を85%以上にする。
 - ・「風通しの良い職場である」と感じている教職員の割合を100%にする。

4 実施する業務量管理・健康確保措置の主な内容（詳しい措置内容は、教職員・福利課のホームページをご覧ください。）

- (1) 学校運営の効率化に向けた取組
- (2) 「学校と教師の業務の3分類」を踏まえた業務の見直し
- (3) 教職員の健康及び福祉の確保に関する取組

5 その他実施に関し必要な事項

(1) 取組の推進について

県教育委員会は、関係会議等を通じて本計画の周知・理解促進を図るとともに、保護者や地域住民、関係団体等に対して具体的な取組への協力を要請します。

(2) フォローアップについて

毎年度、法の規定に基づき実施状況を把握・公表し、総合教育会議へ報告します。また、国の動向や目標の達成状況を踏まえ、必要に応じて計画の改訂を行い、取組のさらなる充実と着実な執行を図ります。



詳しくは教職員・福利課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2026032600207/>



教職員・福利課 働き方改革推進担当
TEL : 088-821-4901

高知県内の公立中学校における部活動の地域展開については、令和5年度からの「改革推進期間」において、地域クラブ数の増加など、皆様のご協力により着実な進捗が見え始めています。

県では、昨年7月に実施したアンケート調査の結果なども踏まえ、この3月に「高知県における部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を新たに策定いたしました。

本年度（令和8年度）から令和13年度までの「改革実行期間」へ移るにあたり、今後の主な取組方針として、休日の活動については以下の2段階（ステップ）で進めてまいります。

【ステップ1】令和10年4月まで

- ・原則として教員が（教員の立場として）休日に指導を行わない体制への移行を目指します。

【ステップ2】令和13年度末までを目安として

- ・休日の学校部活動を地域クラブへと移行します。

本改革は、高知県の子どもたちが将来にわたって継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境を確保するための重要な取組であり、同時に、教員の働き方改革を推進するものです。

地域や学校の実情は様々ではありますが、学校・保護者・地域が手を取り合い、一歩ずつ進めていけるよう、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【「高知県における部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要】

基本的方針	『高知県の子供たちが、将来にわたって継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保する。』	
改革期間	「改革実行期間」（前期）令和8年度～10年度【中間評価】 ※令和10年度に中間評価を実施	「改革実行期間」（後期）令和11年度～13年度
取組方針	改正給特法目標*に沿って、全公立中学校の部活動について地域展開等を加速化する。	* 令和7年6月の「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律」により、令和11年までに教育職員の時間外在校等時間を月平均30時間程度に削減
	<p>休日</p> <p>Step 1 令和10年4月までに、原則、教員が休日に指導を行わない体制に移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(a)部活動指導員の活用、(b)地域クラブ活動、(c)休日は（原則）部活動を行わない から選択 ●地域クラブへの前段階として、複数校による(d)拠点校部活動も推進 ●地域に人材が不在の場合や指導を希望する場合は、教員が「兼業」で地域クラブを指導 <p>Step 2 令和13年度末までを目安に、休日の学校部活動は地域クラブ活動に移行</p> <p>(a)部活動指導員の活用や(d)拠点校部活動への移行を推進し、指導者が確保できた場合など、環境が整備されれば段階的に地域へ展開。一方、指導者を確保できない等、環境整備が難しい場合は、当面、教員が指導。</p>	
II 認定制度	競技力向上を主目的としたチーム・スクール等との区別や質の担保等のため、国が示す要件等に基づき、市町村等が地域クラブ活動の認定を行う仕組みを構築 【呼称】「認定地域クラブ活動」【想定される認定の効果】公的支援、大会・コンクールへの円滑な参加等 【主要要件】活動時間(平日は1日2h程度以内、休日は1日3h程度以内)/休養日(週2日以上、休日のみ活動の場合は土日どちらか)/低廉な参加費/指導体制/安全確保/学校等との連携	
III 地域展開の円滑な推進に当たっての対応	<p>推進体制</p> <p>県としての取組方針の提示・市町村等への支援・周知広報等/市町村等が改革の責任主体/ 専門部署の設置・コーディネーターの配置/生徒が所属する中学校等との連携/関係団体等・大学・民間企業との連携等</p> <p>各種課題への対応</p> <p>①運営団体・実施主体の体制整備等 ②指導者の確保・育成 ③活動場所の確保 ④移動手段の確保 ⑤生徒の安全確保 ⑥障害のある生徒の活動機会の確保 ※6項目について具体的な取組内容等を整理</p> <p>ニーズ反映・参画促進等</p> <p>生徒等のニーズの把握・反映/地域クラブ活動への参加促進のための情報提供等/生徒のクラブ運営等への参画</p>	
IV 学校部活動の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営のための体制整備 ●適切な指導及び安全・安心の確保 ●適切な活動時間・休養日等*の設定 ●生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備 <p>* 活動時間（平日は1日2h程度以内、休日は1日3h程度以内の週11h程度）/休養日（週2日以上、休日のみ活動の場合は土日どちらか）</p>	
V 大会等の在り方	●生徒の参加機会確保 ●大会等への引率や運営に係る体制整備 ●生徒の安全確保 ●大会等の在り方の見直し	
VI 関連制度	従事を希望する教師等の兼職兼業の円滑化/教師の人事・採用での部活動指導力の評価における留意/高校入試における取扱いなど	



詳しくは保健体育課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/310501/>



保健体育課 担当 TEL : 088-821-4751
小中学校課 担当 TEL : 088-821-4735

皆さんは『親育ち支援』という言葉を知っていますか？

保護者が子どもの成長を楽しみながら、「子育てって楽しい！」「自分も親として子どもと一緒に成長できて！」と感じられるよう、高知県内の保育所・幼稚園等の先生方と一緒に保護者を応援する取組です。高知県ではこの『親育ち支援』を、全国に先駆けて平成21年度からスタートさせ、高知県内のすべての保育所・幼稚園等で『親育ち支援』が行われています。

『親育ち支援』では、子ども一人一人が、保護者や周りの大人にありのままを受け止められ、自分らしく健やかに成長できることを大切にしています。そのためには、子どもの内面がどのように発達していくのか、園の先生方と保護者がともに理解し、子どもに関わっていく必要があります。そこで重要なのが『高知県の保護者とともに特に育みたい資質・能力』（5つの資質・能力）です。

この5つの資質・能力は子どもの内面の発達の中で、周りの大人との十分な関わりの中で、ゆっくりと育まれていきます。


①愛着の形成

子どもに最初に育まれるものが、愛着です。赤ちゃんは笑ったり泣いたりして自分の欲求を表現します。それに対して、保護者や特定の大人が繰り返し応えていくことで、「この人はぼくを大事してくれる人だ」「愛してくれる人だ」と感じることができ、その大人と情緒的な絆が深まり愛着が生まれてきます。

高知県の保護者とともに特に育みたい資質・能力

子どもの心の発達には順序があり、周りの大人との十分な関わりの中でゆっくりと育まれていきます

くっついているて
安心するなあ




①愛着の形成

特定の人の間に
うまれる、情緒的な
結びつき
不安を感じたときに、
この人がいれば安心と
感じられること

- ・子どものサインに
気づき、欲求を満たす
- ・安心できる環境を
つくる

心があったかい
生まれてきてよかった




②人に対する
基本的信頼感の獲得

大切に養育され、
甘えを受け止めてくれる
大人がいることで、
自分の周りは信じられる
と感じられる感覚

- ・周りの大人がたくさん
笑顔を見せる
- ・声をかける
- ・スキンシップをとる

ぼくはぼくでいいんだ
ぼくはぼくがスキ!




③十分な自己発揮と
他者の受容による
自己肯定感の獲得

自分は自分で
いいんだと
自分自身を
肯定する気持ち

- ・十分に自己発揮させる
- ・ありのままの姿を
認めていく
- ・その子どもの成長を
認めていく

清潔にすると
気持ちがいいなあ




④基本的生活習慣の
形成

バランスのとれた食事、
十分な睡眠、
適度な運動などの
基本的な生活習慣に
ついての行動の意味を
子どもが理解し、
必要感をもって
行うこと

- ・子どものペースを
大切にする
- ・やりたいという
思いを大切にする

友だちっていいなあ
楽しいなあ!



⑤道徳性や規範意識
社会性の芽生え

友だちという異なる
体験を重ねながら、
してよいことや
悪いことが分かったり、
友だちの気持ちに
共感したり、相手の
立場に立って行動し
ようとする気持ち

きまりを守る必要性が
分かり、自分の気持ちを
調整し、友だちと
折り合いをつけながら、
きまりをつくったり、
守ったりする気持ち

- ・子どもの思いを理解
しようとする
- ・どうしてそうなった
のか子どもと一緒に
考える

②人に対する基本的信頼感の獲得

愛着が形成されると、子どもは「この人は信じられる人だな」「安心できる人だな」と感じることができるので、行動範囲が広がってきます。自分が困ったり、不安なことがあったりしても、「この人が助けてくれる」と思えるからです。0～2歳頃の探索活動（未知の物や環境に対して興味・好奇心をもち、触る・見る・聞く・口に入れるなどして確かめようとする行動）もその一つで、**人に対する基本的信頼感**が獲得されている姿です。

③十分な自己発揮と他者の受容による自己肯定感の獲得

基本的信頼感が育まれると、子どもは「自分の周りにはいる人は安心できる人だ」「安心できる場所だ」と信じてあげることができ始め、安心して自分の感情や意思を十分に表現すること（自己発揮）ができます。そうする中で、自分とは違う相手の存在や気持ちを考えたり、葛藤を覚えたりしながら、「自分は自分でいいんだ」と自分自身を肯定することができ始めます。それが**十分な自己発揮と他者の受容による自己肯定感**が獲得されている姿です。

④基本的生活習慣の形成

自己肯定感が育ってくると、子どもは「失敗しても大丈夫」と思えるようになり、いろいろなことに挑戦し始めます。「自分で何でもやってみよう」、そのような段階になると、子どもが必要感をもって生活行動の意味を理解し始めます。3歳頃の、自分から着替えや衣服をたたんだり、何でもお手伝いをしたがる

たりする姿は、**基本的な生活習慣**が形成されやすい時期になっているということです。

⑤道徳性や規範意識、社会性の芽生え

最後に子どもに育まれていくものが、道徳性や規範意識、社会性です。保育所・幼稚園等では友だち同士のトラブルが見られることがあります。4～5歳頃になると、そのトラブルの中で、自分の思いを主張しながら、友だちの気持ちに気付いたり、自分と友だちの考えに折り合いをつけたりしながら、ルールや決まりを作ったり守ったりし始めます。それが**道徳性や規範意識**が育まれている姿です。

以上、これらの5つの資質・能力を、子どもは愛着の形成から一つ一つ順番に、時には行ったり来たりしながら、ゆっくりと獲得していきます。子どもがこの5つの資質・能力を一つ一つ獲得していくためには、周りの大人の関わり方や環境が大きく影響を与えます。ですから、子どもが5つの資質・能力を獲得するための関わり方を、子どもに関わる園の先生方と保護者がともに理解していくことが大事になります。また、この5つの資質・能力を小学校以降の先生方が知ることは、子ども理解に大いに役立ちます。5つの資質・能力と、その時期に必要な子どもへの関わり方を正しく理解し、大切な高知家の子どもたちとともに育てていきましょう。



詳しくは幼保支援課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/311601/>



幼保支援課 親育ち支援担当
TEL : 088-821-4889

Topics 6

とさまなチャンネル・Instagramのご紹介♪

令和8年度も見てね～！ “きらっと いきいき あったかい 『高知家』の教育”

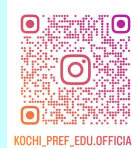


↑チャンネルは
こちらから

魅力ある『高知家』の教育を
わかりやすく伝えるからね。
みんないっぱい見てよ～



Instagram
開設しました！



詳しくはYouTubeチャンネル『とさまなチャンネル』をご覧ください。
<https://www.youtube.com/@user-dx7bm9tn8h>



教育政策課 教育企画担当
TEL : 088-821-4731

「まなび場 Search」で地域の講座やイベントを発信中！

県内のあらゆる「学び」場と学んだことを「活かす」場の情報を、生涯学習ポータルサイト「まなび場 Search」に掲載中！

2次元コードからご自身に合った講座等を探してみてください🔍

高知県教育委員会事務局生涯学習課委託事業 高知県生涯学習ポータルサイト



まな **Viva!** び場 Search

本県高校生の探究型海外留学を産学官で支援する「こうち未来創造グローバル人材育成事業」は、国のトビタテ！留学 JAPAN「拠点形成支援事業」を活用し、令和6年度から事業の周知や留学を希望する生徒の募集を進めています。

募集初年度である令和7年度は、県内国公立の16校から31名の生徒が、企業や大学の皆様のご協力のもと、13カ国で探究活動を行いました。派遣留学生は、帰国後、その成果を様々な場面で発表するなど、応募から成果報告会の様々な研修等への参加を通して大きく成長しました。



本事業のコンセプトは「行きたい場所でやりたい探究を」という点にあります。自ら留学計画を作成して留学を行うということは決して容易なことではありません。留学先では初めてのことに戸惑い、思うように行かなかったこともあったと報告がありました。しかし、そのような経験があったからこそ、「世界を知り、高知を知り、自分を知る」ことが出来たと考えられます。

令和8年度は、昨年度の50名を上回る、59名の応募がありました。本県の高校生においても、海外について知り、国際的な視野を広げたいという希望や、海外での学びを通じて自己を成長させたいというニーズが十分あることを改めて実感しています。

本事業は、企業や個人の皆様の寄附、関係者の皆様のお力添えで成り立っております。寄附は通年受け入れています。次年度以降の事業の持続のためにも、本事業への一層のお力添えを賜ることができれば幸いです。

【1期生の探究テーマ例】「高知の物流インフラを発展させる術を学びながら、現地で食産物の交流を行う」(シンガポール) / 「キリバスの人々の防災意識をインタビューを通して調査する」(キリバス) / 「サステナビリティに基づいて地元仁淀川町の観光を活性化させる」(カナダ) / 「地域を育てる正しい支援と教育の形」(フィジー) / 「パイロット体験留学を通じて、女性の活躍と男性も家事・子育てがかなう高知をつくる」(アメリカ)

留学プログラムの内容(R8年度)

探究型海外留学 (5つのコースを実施)

■留学先：外務省発表の危険レベル2～4に該当しない地域

対象期間：7/10～8/31 ※14日以上

① マイ好奇心探究コース

「知りたい」「明らかにしたい」という自らの興味・関心に基づいた問いを設定し、探究するコース

② 社会課題探究コース

世界や日本が抱える社会課題(SDGs等)を自分ごととして考え、設定したテーマを探究するコース

③ STEAM探究コース

科学・技術・工学・芸術・数学領域における問いや、その問いをAIやIoT等を活用し、探究するコース

④ スポーツ・芸術探究コース

実技経験や実績の有無に関わらず、スポーツ・芸術分野における問いを設定し、探究するコース

対象期間：7/10～8/31 ※14日以上

本県独自コース

⑤ こうち未来創造コース

県全体や県内地域の課題解決や地域貢献に関連する5つのテーマのいずれかに即した探究課題を設定し、自校の総合的な探究の時間等の取組と連動させ、探究するコース

※チームでの応募可能(最大4名まで)
*同じ場所に留学する必要なし

【5つのテーマ】

- (1)人口減少・少子高齢化
- (2)地域産業の活性化
- (3)未来のインフラ(公共交通機関等)
- (4)地域医療・教育・コミュニティの将来
- (5)高知の強み(自然・歴史・食等)を生かす

★地域課題の解決・地域活性化につながるコースを重視



参加した生徒の声

高校卒業後は、県外に進学して、そこでよさこいサークルを立ち上げたい。その後の進路については、県外での就職を考えていたが、今回の留学をきっかけに、**県内で就職したい**と考えるようになった。(カナダでよさこいに関するテーマで留学した生徒より)



詳しくは高等学校課ホームページをご覧ください。

<https://sites.google.com/g.kochinet.ed.jp/kochimirai/HOME>



高等学校課 こうち未来創造グローバル人材育成事業担当

TEL : 088-821-4907

「高校生ビジネスサマースクール」の参加者を募集します！

オーテピア高知図書館では、高校生を対象としたビジネスプランの作成講座を行います。ビジネスのアイデアを創造する方法から収支計画の作り方まで、金融のプロである日本政策金融公庫の職員からアドバイスを受けられるほか、ビジネスプランの根拠となるデータの探し方を図書館職員がご紹介！本講座で「高校生ビジネスプラン・グランプリ」に応募するための知識が学べます！講座をきっかけに、あなただけのビジネスプランを作ってみませんか？

高校生ビジネスサマースクール

- 【開催日】 令和8年7月29日（水） 10:00～17:00
- 【場所】 オーテピア 4階 研修室
- 【対象】 県内の高校生・高専生（1～3年生）からなる個人又はグループ
- 【定員】 先着7組 ※1組あたりの人数制限なし
- 【募集期間】 令和8年6月2日（火）～7月24日（金）
- 【申込】 インターネット（高知県電子申請サービス）



昨年度の講座の様子

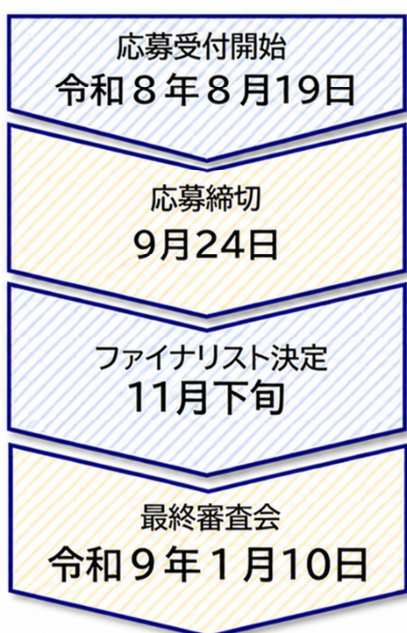
申込はこちらから ▶



高校生ビジネスプラン・グランプリとは

若者の創業マインド向上を目的に、次世代を担う高校生・高専生のビジネスプランを競う全国規模の大会で、今年で14回目になります。プラン作成を通じてビジネスの知見を深めることができるとともに、自ら学び考え課題を見つける力や、その課題を解決するための論理的な思考力、他者と協働する力が養われます。昨年度の参加校数は過去最多の639校、応募総数は5,640件でした。

高校生ビジネスプラン・グランプリ(日本公庫主催)のスケジュール



ビジネスプランを
WEBで応募

本講座では
プランの作成を
サポートします！



〳セミファイナリスト誕生〵
高知工業高等専門学校
「きみのたねこうぼう」

この講座を受けて上位入賞した高校

- 【第11回 セミファイナリスト(ベスト20)】
高知工業高等専門学校
- 【第10回 ベスト100】
高知県立高知国際高等学校ほか

※県内高校のグランプリ応募実績 …19校



詳しくはオーテピア高知図書館ウェブ・サイトをご覧ください。
<https://otepia.kochi.jp/library/>



オーテピア高知図書館
TEL : 088-823-4946

心の教育センターでは、学校への通いづらさや集団で過ごすことに不安がある子どもたちを対象として、多様な学びの機会や居場所の充実に向けた取組を実施しています。

こころオンラインサポート



パソコンを使用してメタバース空間に自分の分身となる「アバター」を作り、オンライン上での自主学習や交流活動ができる居場所を開設しています。子どもたち一人一人のペースに合わせたICTの活用をサポートします。

- *開催日 月・金曜日 9:30 ~ 11:30
火・水・木曜日 13:30 ~ 15:30
- *対象 小・中・高生及び18歳までの子ども

メタバース内での
会話は、音声とチャットのどちらでも
対応可能です。



中高生等の居場所 Kochi Teens Base

高知県立大学内に自分のペースで過ごすことができる居場所を開設しています。AIドリルを使った自主学習や施設を利用した活動など、自分の興味を広げながらゆったりと過ごすことができます。学習支援や活動のサポートは、学生ボランティアとスタッフがを行います。

- *開催場所 高知県立大学 永国寺キャンパス内
- *開催日 毎週金曜日 13:30 ~ 16:15
- *対象 中・高生及び18歳までの子ども



見学や体験
も受け付けて
います。



ことことパーク

遊びや体を動かす活動などを、少人数で楽しみながら安心して過ごせる居場所です。カードゲームやボードゲーム、折り紙、バランスボールなどを使ってスタッフや参加者と交流します。

- *開催日 月曜日 15:30 ~ 16:30
土曜日 10:30 ~ 11:30
- *対象 小・中・高生

各回4名程度の
少人数で実施
しています。



保護者の交流の場 ほっとgarden

日々のお子さんとの関わりのなかで、うれしかったことや「これでいいのかな？」とふと立ち止まることなど、子育て中の保護者の皆さんがお話をしたり、ほっとしていただくための居場所です。

- *開催日 (年5回程度開催)
土曜日 10:30 ~ 11:30
- *対象 (小・中・高生及び18歳までの子どもの) 保護者

子どもたちが「ことこと
パーク」で活動している
間に、「聴いて・話して・
ほっとして♪」



○いずれも事前予約が必要です。参加希望日の開催状況など、まずは下記までお問い合わせください。



詳しくは、高知県心の教育センターホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/311902/>



高知県心の教育センター
TEL : 088-821-9900

<発行者> 高知県教育委員会事務局教育政策課

TEL : 088-821-4731 FAX : 088-821-4558 E-mail : 310101@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県教育委員会 WEB サイト : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

※本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

